

トンネル用機械

延伸ベルトコンベヤシステム



メーカー		タグチ工業
搬送量	t / h	300
ベルト速度	m / min	150
ベルト幅	mm	610
ベルト貯蔵能力	m	380

<解説>

■ベルトコンベヤ搬送量の計画について

ベルトコンベヤ設備を計画するには、「計画搬送量」を明確にしなければ、ベルト幅やスピード、必要動力は選定できません。

定量供給装置（ベルトフィーダー等）で常に一定の搬送物がコンベヤに供給される場合は「〇〇 t / h」「〇〇m³ / h」が明確になるので、その搬送量を元にコンベヤの設計をすれば、安定した運転は確保できます。しかし、破砕機（クラッシャー）などからの排出ラインなど、供給元の装置の排出量が不安定な場合は、注意が必要です。

よくある誤りとして、その装置の時間当たりの標準処理能力をそのままベルトコンベヤの搬送量の計画にしてしまうことがあります。供給装置の排出量にばらつきがある場合などは、コンベヤはその排出量の多い時に合わせた搬送能力の余裕をもっておかないと、次のようなトラブルが発生します。

1. オーバーフロー・・・荷のこぼれ、カバー・フレームの損傷
2. 荷のつまり・・・ベルトの損傷
3. 過負荷・・・動力のトリップ

すなわちコンベヤへの供給量が一定でない場合は、その瞬間最大供給量をベルトコンベヤの計画搬送量として計画しなければ、安定した搬送は確保できません。